

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会
大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する
「意見一覧」(付箋記入内容)

[この資料について]

この資料は、大橋川周辺まちづくり検討委員会の主催で平成18年9月10日(日)に、くにびきメッセにおいて開催された「大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会」において出された意見を整理し、まちづくり基本方針、基本計画策定に資するように一覧にしたものです。

委員会からのコメントおよび行政・河川管理者からのコメントを付記します。また、とくに説明を要する項目については、別紙資料「代替案検討一覧」をご覧ください。

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
1	基本方針・基本計画策定手順	前文	委員会第1回、4回、5回の傍聴をしているが、基本方針の作成の手順は素晴らしい。特に「P7 今後の進め方」は良い。文章だけでなく実行がなされれば…と思っている。	「P7 今後の進め方」でも示しているように、多様な意見を取り入れる参加型の事業が実現できるように、基本方針案、基本計画案を策定するよう努力します。	*
2		前文	方針に合った新たな魅力を積極的にエリア内に導入すべきではないか。		
3		前文	「検討委員会が基本方針の内容について議論し行政・河川管理者に基本方針は「この…」という形で提案する手続きをとっています。好ましいことだ。が抽象的、横断図等を示されていない。できるのか。」		
4		前文	委員さんからたくさんの貴重な意見がでていますが、これを小さな市にあてはめてみた場合どんなまちづくりになっているのかシミュレーションしてみてもよいのでは。		
5		前文	あたりさわりのない言葉、相反する理論のどちらでも取れるような言葉上の遊びとも思える。具体的な計画にどう位置づけられるものだろうか。		
6		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	松江市以外の地域の意見を参考までに考慮する考えはいいが、		
7		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	基本方針については全体的には同感です。ただし、今後の具体化するなか基本計画、実施案の作成に関してこの方針(姿勢)を貫いて下さい。	この方向で進めます。	*
8		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	委員案は良いと思います。		
9		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	これまでの通り一辺の行政の説明で、単に説明だけの押し付けではなく、河川法改正に伴う住民参加、環境について議論、対論する方向は今後河川計画の主流になっていくよい例と思います。		
10		P7 今後の進め方	行政先行の事業ではなく地域住民の意向による事業はうれしい傾向である。		
11		まちづくり全体についての意見	委員会の熱意は大いに感じますが、いわゆる公の関係者の意識がどうでしょうか？国・県・市など行政関係がこの方法論に真の理解を！	基本方針案「P7 今後の進め方」に反映しました。	委員会が主体となってされた基本方針及び基本計画に関する提言を最大限尊重し、具体的な計画に反映させていただきます。
12		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	もっと深く勉強して望んでもらいたい。行政側の切り返しが不足です。	委員会と行政・河川管理者との間で議論を深めます。委員会としても説明に関しては、簡潔にして分かりやすい説明を心がけます。また、行政河川管理者に対しても、説明の方法の改善を要請します。	今後とも様々な情報収集を行うとともに、わかりやすい説明に努めます。
13		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	まちづくり検討委員会として市民の世論の把握に関する努力が不足しているのではないかと。この事業とまちづくりに対して松江市民の世論を分析しているのか。	市民からの積極的な意見の提案を促進します。「P7 今後の進め方」を実現する際に参考にします。	*
14		P4 上流部の基本方針	拡幅ありきのまちづくりは再考の余地あり。	「拡幅ありき」ということについては、斐伊川流域全体の治水にかかわる重要な論点です。別紙資料「代替案検討一覧」を参照してください。	別紙資料「代替案検討一覧」を参照してください。
15		P7 今後の進め方	今日、まちづくりに対する意見交換会ということで参加したが、前段の行政側の7月水害と改修の意義の部分に関する本音的発表の部分が長すぎる。議論をまちづくりに関する意見交換に絞るべきである。	今回は参加者の皆さんの関心が平成18年7月の洪水に向いているという認識のもとで意見交換会を企画しました。アンケートによれば、参加者の皆さんはこのやり方でほぼ満足していただけたと思います。	*
16		P7 今後の進め方	早急に図面化し、それをもとに話し合いが必要。具体的には下流部より拡幅する必要がある。	基本計画の議論においてそのようにいたします。	委員会では基本方針策定の後、基本計画の検討を行っていただきます。その段階において、沿川治水対策協議会や市民の皆様のご意見をいただきたいと考えています。また、工事の施工順については、洪水時の宍道湖の水位を下げることで、宍道湖・大橋川の水位上昇に対して松江市街地の中心部を効率的に防御することの両面を考えて対応することとなります。特に、浸水が想定される区域の人口・資産が大きい上流部について、速やかな対応が必要と考えています。
17		P7 今後の進め方	基本方針が図面に反映された後、チェック確認、再確認と最後まで関わっていただきたい。		
18		P7 今後の進め方	「P7 今後の進め方」は方向性としては素晴らしいと思う。こうした会をできるだけ設けた方が良いと思う。	そのようにいたします。	*
19		P7 今後の進め方	「P7 今後の進め方」は委員会の提言文章ではなく、それを受けた行政サイドの文章と受け止められませう。委員会を主語とした明確な文章とすべきと思います。	委員会では、事業者が策定する基本方針、基本計画案は、こうあるべきだという形で検討を進めています。委員会からの提案は委員会が主語になっていますが、基本方針案の内容は事業者が主語となっています。これは、委員会案を承けて、事業者が策定する案が委員会案との間に齟齬を生じたり、ギャップがあったりすることがないようにするための工夫です。委員会では、このような趣旨で本委員会案を提案するものです。行政・河川管理者もこの編集方針を了承しています。これは、従来型の基本方針や基本計画の策定のやり方ではない、本委員会独自の手法です。この趣旨をご理解いただきたいと思っています。	*
20		P7 今後の進め方	河辺の植生の樹木を柳と松に限定して考えるのは生態系(自然の河畔林)の樹種から考える疑問が多い。	「松や柳など」と訂正いたしました。松と柳を代表にしたのは、市民のみなさんに松江にふさわしい環境について議論を深めていただきたいという趣旨からです。	*

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
21	事業手順	P7 今後の進め方	実際の工事期間中においても景観等に配慮し、国際文化観光都市として、また、市民が水に親しめるようにしてほしいです。	事業推進のスケジュール・プロセスについては、基本計画の議論において十分に検討します。	工事中の交通対策並びに市民生活等に与える影響については、大橋川周辺のまちづくりの骨格が固まった段階で、国土交通省が主体となって検討し、本委員会をはじめ地域の皆様に説明する予定です。
22		まちづくり全体についての意見	改修にあたって、元の本川に改修後の本川を重ね合わせ、そして移転対象区域の移転先等、具体的に示し、まちづくりを示してほしい。		委員会では基本方針策定の後、基本計画の検討を行っていただきます。その段階において、沿川治水対策協議会や市民の皆様のご意見をいただきたいと考えています。
23		前文	ハード整備を行う間、エリアの魅力を残しておくことができるのか？別のエリアに魅力を移転させることが必要ではないか。		*
24		まちづくり全体についての意見	大橋川拡幅は反対だが、米子・境港との話し合いは不十分なままのようだ。下(シモ)から話をまとめるべきだ。県の仕方は上(カミ)から…。逆ではないか。		大橋川改修に係る鳥取県との課題は、中海の護岸整備と環境調査の2点です。中海の護岸整備については、国土交通省を中心に関係機関からなる「中海護岸整備促進協議会」を設置し具体的な整備に向け調整を行っています。また、環境調査については、両県、関係市町及び市民意見を反映させた「大橋川改修事業に関する環境調査計画書」に基づき、平成18年4月から調査を実施しているところです。今回の洪水被害を受け、鳥根県は鳥取県知事に協力を要請したところですし、松江市長も米子・境港・安来の各市長に協力を要請し、大橋川改修の必要性については理解を得られていると考えています。また、鳥取県民の皆様への情報発信拠点として、米子市内に「中海・日野川情報ひろば」を開設し、斐伊川神戸川治水対策の情報も提供しているところです。引き続き両県民の理解が得られるよう努めて参ります。
25	市民参加	前文	市民の意見を言える場をもっともっと作るべきだと思う。	「P7 今後の進め方」を実現する際に参考にします。基本計画策定の過程で、市民意見交換会を実施します。またその回数や方法についても工夫いたします。	市民意見交換会は、基本計画の検討段階でも実施しますが、そのほかにも沿川治水対策協議会や関係団体の皆様からご意見をお聞きする機会を設けます。なお、大橋川コミュニティーセンターは土日を含め毎日閉館(年末年始は除く)していますので、ご意見をお寄せ下さい。
26		前文	これから市民意見交換会を度々開いてください。		まちづくりの検討にあたっては、市民の皆様のご意見をいただきながら進めていただく必要があると考えています。今後も積極的な情報提供に努めて参ります。
27		前文	住民が主体的にまちづくりを行えるよう行政側も方法を考えてほしい。		*
28		前文	この種の催しに初めて参加しましたが、勉強不足で今、書くような意見は特にありません。		*
29		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	ワークショップの学習会 パブリックシチズンとして。		*
30		前文	このまちづくり計画(委員会)の最大の弱点は、住民団体を入れず、数回の会合で結論を出そうとしていることです。まちづくりに名をかりて3点セットをどうしてもすすめる「拡幅ありき」はやめるべきだと思います。		「まちづくり検討委員会」の委員の選任にあたっては、将来の松江のまちづくりについてあらゆる角度から検討する必要があるため、都市計画、景観などの学識経験者を選任するとともに、経済団体や農業団体など各種団体の代表者を選任し、様々な立場からまちづくりに対して意見をいただけるような委員会としています。また、幅広い市民の意見を反映させるため、市民意見交換会を実施するとともに沿川住民および関係団体等からご意見をいただきながら検討を進めているところです。
31	P3 大橋川周辺のための地域区分	上・中・下流部ともによくまとまっていると感じた。具体化するのは大変でしょうがその役割を担うには市民。いかに多くの市民参加を可能にするかがカギをにぎるのですね。	*		
32	コスト	前文	市民として県民として経済的にどのくらいの負担になるのか明確に。	大橋川改修問題は、水害のリスク負担の問題であるとともに、改修費用の負担の問題ともつながっています。市民・県民・国民としての負担が分かるように、基本計画の議論において検討します。	平成16年12月に公表した「大橋川改修の具体的内容」で示しているのは堤防の法線や高さなど水の流れる器の部分であり、堤防や護岸、橋梁の形状が定まっていないことから事業費の算定するには至っていません。現在、堤防の形状や背後の土地利用についてまちづくり検討委員会において、地域の皆様方のご意見をいただきながら検討を進めているところです。基本計画の検討にあわせて事業費を算定していくこととなります。

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
48	優先順位	まちづくり全体についての意見	目的の1は治水ですから、あまり文化・歴史・景観等に力を入れると目的の事業に支障をきたして遅れないような方法計画にされたいですね。文化・歴史・景観等に重点を置くとしばられてしまうのではないかと。	松江にとって、治水・景観・環境はどれも重要な要素であるという認識で議論しています。とくに、国際文化観光都市である松江にとって、上流部の景観の問題は、松江の将来にとってきわめて重要な課題です。優先順位については、委員会でも十分に議論し、「基本方針案」のなかでも、「景観・環境の維持向上と水害に強く安全で安心なまちづくりとを同時に実現する」という課題を掲げています。この難しい課題が実現できたとき、松江はこうした方面でも先進的な都市として国際的な評価を高めることができると認識しています。なお、水害対策については、着手可能なものから勧めるように、行政・河川管理者に要請いたします。	*
49		前文	「景観と環境」それと治水を対立させず・・・は絶対守ってほしい。		
50		前文	8/10の委員会を傍聴したが、委員長のまとめでは治水が「景観と環境」に優先するように聞こえた。その後正されたのか？		
51		前文	景観 保全 何もしない の議論にならないように。安全・安心なまちづくりである。		
52		前文	良い景観を残すということはよいと思いますが、市内の人に限らず全国の人が良いと思うものを残していき、それ以外のものが今後の松江の発見のために変えるべき部分は変えていくということも必要であると思います。		
53		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	治水・環境・まちづくり・景観の整合性。		
54		P4 上流部の基本方針	「安心で安全なまちづくりの視点で事業を推進すべき。具体的に「大橋」は宝との意見もあるが果たしてそうだろうか。耐震強度を持った下部にカラコロとなる木製の歩道を備えた橋を作るといった考えをもったらどうか。		
55		P7 今後の進め方	景観は大橋川周辺の安全が保たれてこそと思います。まず絶対必要改修を先決にし、それに伴い残したい又は新しく作りたい景観を考えるべきだと思う。水害はすぐにでもやってくるかもしれません。		
56	環境	P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	委員会での発言内容を見ると環境検討委員会の主旨と矛盾する内容が多く、情報交換が十分にされているか疑問である。	環境の問題について議論することは、きわめて重要な課題であるという認識もっています。環境検討委員会の議論については、早急に対応します。	環境の問題とまちづくりの問題とは相互に関連する事柄もありますので、お互いの審議の状況等について情報交換し、矛盾が生じないように進めて参ります。
57		まちづくり全体についての意見	くびき大橋の下の川は水量が豊富で豊かな水景を作っていると思うが、水質はよくないのではないかと。においもあって水質改善も考えないと「親水」には至らないのではないかと。	環境検討委員会とも十分に連携をとりながら、基本計画の議論において検討します。	島根県では大橋川を含む宍道湖の水質改善を図るため、平成17年3月、第4期の「宍道湖に係る湖沼水質保全計画」を定め、関係機関、関係市町、事業者及び住民との連携のもと、なお、一層の浄化対策を総合的かつ計画的に推進することとしています。また、斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会において、水質保全対策の推進等が図られています。
58		まちづくり全体についての意見	河川護岸の生物の生息を絶つような岸辺にはしない。(コンクリートの護岸の禁止 全域)		護岸形状等については、今後基本計画の検討の段階で議論していただきますが、生物への影響については「大橋川改修に関する環境検討委員会」で客観的な意見をいただきながら調査・検討しているところです。
59		まちづくり全体についての意見	宍道湖七珍の復活ができる自然の確保。		大橋川改修による環境への影響については、宍道湖・中海に精通した学識経験者からなる「大橋川改修に関する環境検討委員会」で客観的な意見をいただきながら、調査・検討しているところです。また、景観については、まちづくり検討委員会の中に景観に関する専門家からなる景観専門委員会を設け検討しているところです。
60		まちづくり全体についての意見	宍道湖と中海を結ぶ大橋川。川は上流から下流に流れるが、大橋川の底部は中海から宍道湖に潮が流れている。この微妙な流れで現在の汽水湖が作られているがこのバランスが拡幅で保たれるのか検証すべき。		
61		まちづくり全体についての意見	地形の改変がいかにとりがえしのつかない環境破壊をするか。干拓・淡水化事業で経験しました。景観と環境はセットです。しかし、そのことの検討は弱い。「水の都」としてそれでいいでしょうか。		
62		まちづくり全体についての意見	大橋川拡幅により宍道湖の生態系に大きな影響を与えることが指摘されている。宍道湖の漁業権の問題(経済)はまちづくりの土台だと思う。ご検討を。		
63		まちづくり全体についての意見	水をテーマにしたテーマパークのようになるとどうだろう。上流・中流・下流、それぞれをいろいろなゾーンに分けて環境、景観に配慮して子供から大人まで楽しめるものができるとうい。		*
64	景観計画	まちづくり全体についての意見	景観法の地域指定はおもいきってたくさん検討すべきだと思います。(伝統美観地区に限らず)		基本方針案のなかでも「景観については、まちづくりに関わる制度面も含めて検討を進めます」とあるように、大橋川周辺地区における景観計画策定についての検討を行います。
65		前文	大橋川周辺の建物に関する考え方はいかがですか。(関係する法律等との問題)		

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
66	まちづくり全体	まちづくり全体についての意見	拡幅はせずに、歴史・文化の残る町並みを守る方が長い目でみれば何倍も素晴らしいまちになると思います。	基本方針の議論において検討しています。	*
67		まちづくり全体についての意見	松江に新しい町並みは似合わないと思う。松江らしい古い建物を守るべきでは。		
68		P2 まちづくりの基本的な考え方	今ある魅力をそのままその場所に残すことが可能なのか？疑問。魅力・機能の再配置の発想が必要ではないか。		
69		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	松江市の価値を上げるまちづくり。		
70		P4 上流部の基本方針	映画のセットの様なまちづくりはやめて下さい。	基本方針の議論において検討します。	*
71		P4 上流部の基本方針	キーワードは快適(アメニティー) ここちよい環境が人々が集い行き交い、静かなたすまいを両立すると思います。五感から心まで快適なまち。		
72		まちづくり全体についての意見	高齢者に配慮したまちづくり。また、今後松江市に住み続けることになる若い世代(子どもも含む)の意見もくみとるようにしてほしい。		
73		P7 今後の進め方	大橋川周辺だけのまちづくりを考えているようですが、町全体があつての観光都市です。静けさが保たれても活気は共存できません。周辺の流れのあるまちづくりを。		
74		P3 大橋川周辺のための地域区分	城下町では城の近くの高層ビル規制を早くやるべきだと思います。	基本方針の議論において検討しています。基本計画の議論においても検討をつづけます。	*
75		まちづくり全体についての意見	(図つき) 現在 新大橋の下(図内の斜線部分)現在柵で通行止めの道。ホームレスのゴミ置き場 希望 斜線の部分を部分でも車椅子・自転車等も通れるスロープつきの遊歩道にしてほしい。観光客・住民の散歩道。	基本計画の議論において検討します。	*
76	まちづくり全体についての意見	水の都松江。水上交通や水上スポーツに水面を活用すべき。「道の駅」のような「川の駅」又は「湖の駅」を整備し、にぎわいと楽しさを創出。			
77	前文	堤防に上がらないと見えないような嵩上げはしない。			
78	前文	今ある魅力を他地域の魅力とあわせてグレードアップを図る発想があってもいいのでは。			
79	P3 大橋川周辺のための地域区分	車社会を優先するまちづくりから脱却すべきであろう。	基本計画を議論するときに検討します。	*	
80	P4 上流部の基本方針	静けさとにぎわいの両立にあたって静かに下れる「川くだり」という事業があってもいいと思う。大きな川の観光船はガイドやテープの観光案内がうるさい。静かに水音を聞ける川くだりがあたらぜひ来たい。			
81	P4 上流部の基本方針	公共事業予算が減っている中でまちづくりの再編の「千載一遇のチャンス」と捉えて土地の有効利用を前向きに考えたらどうか？			
82	まちづくり上流部	P4 上流部の基本方針	・大橋川上流部 ・洪水時の水位上昇から考え若干の堤体嵩上げはやむを得ない。 ・景観に配慮した「来待石」でアーマコートした風情ある護岸歩道、道路を整備したらよいと思われる。	基本方針の議論において検討します。	*
83		P4 上流部の基本方針	上流部は自然景観的に見ると最も親水性の乏しい区間であるが、それを単に人通りが多く親しまれている区間、あるいは人工景観の面のみを見て親水のまちづくりとするのは疑問が多い。		
84		P4 上流部の基本方針	親水の景で、静か、活気・風情とにぎわいのkeywordはトレードオフの関係とも思われます。基本計画で苦勞するのではないのでしょうか。		
85		P4 上流部の基本方針	背後地、特に上流部の背後地については、イメージ図的なものは示さないのか？決まったものでなくても示すことで議論が深まるのではないのでしょうか。		
86	まちづくり橋北	まちづくり全体についての意見	大橋～新大橋(北側) 北側は既存のまま(できるだけ計画の影響をかけない)川側に堤防+歩道を設置する。よって川幅の確保は南側に広げる。 宍道湖大橋～新大橋遊歩道設置	基本計画の議論において検討します。	平成16年12月に公表した「大橋川改修の具体的内容」では、市街地部の社会的影響を小さくする検討を行った結果、上流部北側は線形が直線なため、現在の線形を活かす計画としています。
87		P4 上流部の基本方針	大橋北詰「なにわ亭」のあたりはかつて貸しポート店があり、市民や観光客の憩いの場であった。再現できないか。		*

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
88	まちづくり 橋南	まちづくり全体 についての意見	大橋～新大橋の右岸(南側)の景観は最悪。対岸から見てカバーするような植栽の検討を。	基本計画の議論において検討します。	*
89		まちづくり全体 についての意見	大橋～新大橋(南側) 北側は既存(城のイメージ) 反対に南側は親水性をもち、階段護岸等(絵つき)洪水時にはウォータープールになるような場所とする。		
90		まちづくり全体 についての意見	1.大橋川南側(船着場～新大橋～大橋) 川に沿って遊歩道又は歩道希望(交通安全・観光客・散歩・ジョギング・通行に+) 2.葉の茂る樹木(公園の桜等)は岸からの景観に目隠しして邪魔である。 3.川の流木・公園のゴミ等の置き場、花壇が必要。		
91		まちづくり全体 についての意見	大橋川の右岸に水を眺めるベンチを多数置く。		
92		まちづくり全体 についての意見	施設を作りすぎないこと。		
93		P3 大橋川周辺 のための地域 区分	松江大橋の南詰めは古くからの港、船舶の停泊地であり、そうした役割を脱車社会の到来を予測して計画に組み入れるべきであろう		
94	まちづくり 松江大橋	まちづくり全体 についての意見	大橋、新大橋ともに新耐震基準をクリアしていないと思うので、補強なりを願います。	基本方針の議論において検討しています。	大橋、新大橋は大橋川改修に伴い架け替えを行う際に新耐震基準に適合したものとする計画です。 松江大橋は、計画高水位に対して必要な桁下高が確保できていません。このため、洪水時に橋桁や橋脚に流下物が引っかかり堤体へ危険を及ぼしたり、流れを阻害する恐れがあります。また、拡幅により橋長が不足します。したがって、架け替える必要がありますが、大橋は市民のみなさんや観光客から親しまれ愛されてきた橋です。架け替えにあたっては、本委員会や地域の皆様の意見を踏まえ、松江のまちに相応しいものとなるよう景観専門委員会で検討を進めていきます。なお、今後、昭和55年に建設省出雲工事事務所が設置した「松江大橋の歴史に関する研究会」の報告等も参考に議論を深めていただきたいと思います。
95		まちづくり全体 についての意見	松江大橋(第17代と思うが…)は後世に残す文化遺産。必ずあのまま残すこと。		
96		まちづくり全体 についての意見	松江大橋の保存を強く求める。一度失った景観は2度と帰らない！銘橋松江大橋は松江の大きな財産である。		
97		まちづくり全体 についての意見	4本の橋はそのまま残すべきであり、その上でもう一本も新設すべきでしょう。特に大橋は現状のままにすべきです。大正時代から旧制高校生がよく遊んだ場所で、ロマンがあるヶ所です。		
98		まちづくり全体 についての意見	大橋をかけかえて、南・北の調和がとれるのか。(高低差があるため)		
99	P4 上流部の基本方針	松江大橋は現状のままで残すこと。	基本計画の議論において検討します。		
100	まちづくり 大橋川	まちづくり全体 についての意見	大橋川の拡幅は必要なし。宍道湖形成の時代から自然発生的に形成されたものであるからである。ただ川岸の整備は必要でしょう。上部は八雲の時代の明治、中部は江戸、下部は風土記の時代と特色のある景観を示すべきである。	基本方針の議論において検討します。	大橋川は一部狭い箇所があるため、宍道湖の水が流れにくくなっていますので拡幅する必要があります。堤防や護岸の形状については、今後、基本計画の議論の中で検討していただきます。
101		P3 大橋川周辺 のための地域 区分	大橋川周辺は松江に来松された観光の人々に、松江は本当に良い街だと思ってもらうために建物は洋風化しないようにして下さい。	基本方針の議論において検討しています。景観計画について議論するときに参考にします。	
102	まちづくり 中流域	P5 中流部の基本方針	剣先川、中州を含め最も改修の影響が大きいと思われるが、特に自然景観の保全をまちづくりに反映してほしい。	基本方針のなかに組み込んである論点です。	*
103		まちづくり全体 についての意見	中下流域に川辺の散歩、ハゼ釣り等ができるような空間ができれば欲しい。大橋川改修と並行して市街地に浸水がないように応急的な措置を2～3年位でしていただきたい。	基本計画の議論において検討します。	今回の浸水については、国、県、市の関係機関において、浸水メカニズム、当面の浸水対策を検討しているところです。今後、できることから対策を実施していきます。
104		P3 大橋川周辺 のための地域 区分	中州は必ずしも撤去すべきではなく、水辺の"アシ"などは水の浄化作用に大きな役割を果たしていることを忘れてほしい。		平成16年12月に公表した「大橋川改修の具体的内容」では、現在の川筋に沿った改修とすることで中の島は現在の約3分の1の面積になりますが、大橋川については中の島の水際のヨシ等の植物や生物の生息生育場の保全が可能となります。
105		まちづくり全体 についての意見	中流部の堤防の巾、道路幅員(市道)を示して戴き、そして景観を考えていただきたい。		*
106		P5 中流部の基本方針	第5大橋が着工している。それとこれは関係ないのですか。(まちづくりに関して)		第五大橋道路の計画をふまえて、まちづくりについて検討しています。
107		P5 中流部の基本方針	遊水地を自然再生してピオトープ。水遊び、マリンスポーツ。		*
108	P5 中流部の基本方針	中流部の赤線を左岸に広げて大橋川の川幅を広げ下水の流れを良くしたらと思います。	*		

大橋川周辺のまちづくりを考える市民意見交換会で出された大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に対する「意見一覧」(付箋記入内容)

No	テーマ	付箋添付場所	付箋記入の意見	委員会のコメント	行政・河川管理者のコメント
109	まちづくり 下流部	P6 下流部の基本方針	「敬水の景」がなかなかイメージできません。別の表現ができませんか。	基本方針の文言を工夫し、分かりやすくしました。	*
110		P6 下流部の基本方針	敬水という言葉はなじめない。風土記の話は今の宍道湖・中海のことではない。当時は中海は入江で湖ではない。		
111		P6 下流部の基本方針	朝酌、大井地区に歴史公園。国府とのつながり。	基本方針のなかに組み込んである論点です。	*
112		P6 下流部の基本方針	朝酌合流地点を広げられたら水の流れが良くなると思います。	基本計画の議論において検討します。	「大橋川改修の具体的内容」では、上流部の大橋・新大橋間と下流部の矢田付近の川幅が狭いため拡幅することとしています。とくに下流部の矢田地区は約40m拡幅する計画です。なお、朝酌川合流地点にある多賀神社は出雲国風土記にも記載のある地域の歴史的財産であり保存を前提に法線を計画しています。
113		P6 下流部の基本方針	早急に拡幅！！		出来るだけ早く大橋川の改修計画を策定したいと考えていますが、大橋川は国際文化観光都市松江市の中心市街地を流れる川ですので、背後のまちづくりと一体的に整備する必要があると考えています。
114	その他	まちづくり全体についての意見	雨量と潮位についてその設定の仕方。	検討します。	斐伊川・神戸川治水計画では、日本海の潮汐の変動や気圧の変化に伴う偏差(高潮)も含めて計画高潮位をH.P+0.90mとしています。また、計画対象雨量は2日間で399mmであり、これは47年洪水の実績雨量(356mm)の約1割増しです。
115		まちづくり全体についての意見	矢田の渡しのところと市内の方と洪水時50cmも水位差があるのはおかしい。そこで逆流しているのでは？調査してもらいたい。		大橋川は、宍道湖と中海の水位差により水面勾配を持って流れるため、洪水時には下流部である矢田の渡し付近の方が低い水位になります。今回の洪水では、松江水位観測所に比べ、矢田の渡し付近の水位は約50cm低い状況でした。
116		まちづくり全体についての意見	1.水害時、火災(大火事)、防犯をかねた遠隔操作のTVモニター設置とケーブルテレビでの速報 2.同上道路情報(迂回路等を含む)電光掲示板等設置		市民の皆様への迅速、的確な情報提供及び災害対策を実施するため、松江市が設置する災害対策本部に機能的に活動する班を設置し体制を強化するとともに、関係機関との連携の強化を図ります。降雨状況や水位等の情報については、国や県によりインターネット等で情報提供しています。今後、インターネットやケーブルテレビ等によるわかりやすい情報提供について、検討していきます。
117		P4 上流部の基本方針	しじみ公園 中流。		*
118		P1 基本方針について・大橋川周辺の現状	慶長から大正期にかけての資料不足によって判断が短絡的になります。		*